

# 紙風船



## 今年も 紙風船制作がスタートしました

今年もこの季節がやってきました。2月10日の『西木の冬祭り』に向け、紙風船の制作がスタートしました。今年も6つの縦割り班を2つずつ組み合わせ、3基の紙風船をつくります。高学年の子どもたちはもうすっかり分かっている、てきぱきと話を進めていきました。

12月6日(金)の話合いでは、これからの制作の流れについて確認したり、4面に何を書くか決めたりしました。来年の干支であるねずみや今年流行ったものなどを考えデザインすることになりました。

10日(火)は、全員がデザインを持ち寄り、どの図柄にするか決めました。かわいいねずみや、ユニークなデザインがたくさん集まりました。中でも6年生のデザインはさすが！力が入ったもの、細かいところまでこだわったデザインばかりでした。

この後、紙を貼り合わせ、下描きへと進んでいきます。どんな紙風船ができあがるか楽しみです。



今年は何が流行ったかなあ？



力作ばかりで選ぶのが大変。

## もうすぐ中学生 ～ 体験入学に行きました

12日(木)は、6年生が中学校で体験入学をしました。授業体験では、英語と理科の授業を受けました。「小学校より難しくなりそうで不安」という気持ちと「本格的で楽しみ！」という気持ちと、両方感じたそうです。



理科の授業では、カルメ焼きを作りました。



一年生が学校について説明してくれました。



校内巡りの後、1年生のみなさんが、学校の学習や生活について説明してくれました。小学校との違いや、自分たちが入学して感じたことなどを、たくさん話してくれました。また、6年生の質問にも、みんなで答えてくれました。小学校の時に比べ、すっかり大人になった先輩たちを、6年生は憧れのまなざしで見ていたようです。中学校入学を不安に感じていた子どもたちも、楽しみになってきたようです。その後、部活動を見学しました。

## 「働く」ってどんなこと？

6年生は今、総合的な学習の時間に『働くこと』について学んでいます。実際に働くことを通して感じたり考えたりしてみよう、ということで、9日（月）はこども園に、11日（水）は清流苑にお邪魔しました。こども園の先生方や清流苑の職員の方々にインタビューしたり、実際に働かせていただいたりしながら、やりがいや大変さなどについて、実感することができたようです。

こども園では、ただ単に子どもと遊ぶだけでなく、様々な配慮や工夫をして子どもたちを育てていることに気付いたようです。また、清流苑では、テーブル拭き一つとっても、家でのお手伝いとは衛生面の気配りが違うことに気付いたようです。



2カ所の訪問、短時間の体験だけでは、まだまだ分からないことも多いはずですが、また、他の仕事にも、その仕事なりの喜びや苦労があることと思います。それぞれのご家庭で、親の仕事について話してあげてください。子どもたちなりに、働くことについて考えをもてるよう家族で話題にさせていただければと思います。